

チーム制によるウォーキングプログラムの実施（愛知県大府市）

～スポーツに興味・関心がない層に対するスポーツ実施の習慣化に向けた取り組み～

活動類型⑦「エリア単位でのスポーツ実施者の獲得」に向けた取組



取組概要

スポーツに興味・関心がない層やスポーツ実施率の低いビジネスパーソンをメインターゲットとしたスポーツへの参加及び習慣化を図る取組。グループで歩数を競い合う、ゲーム性の高い内容とすることで、気軽に参加し仲間が励ましあいながら継続できる仕組みとした。

実施体制、運営状況等

健康都市推進課を中心に運営している。実施平成29年度～平成30年度は自治体の自主財源で運営していたが、令和元年度はスポーツ庁の補助金を入れて事業を拡大している。

- ・運営人数 4人
- ・運営予算 13,159千円（地方スポーツ振興費補助金＋一般財源）
- ・運営資源 健康都市推進課で実施

取組の狙いとポイント

市民の スポーツ実施 の現状

- ・本市で令和元年度に策定した第6次大府市総合計画等では、週1回以上運動やスポーツに取り組んでいる市民の割合（18歳以上）を65%（目標年次：令和12年度）としているが、平成30年度の実績値は45.3%となっている。
- ・スポーツに取り組んでいる市民の年代別の割合を比較すると、70代以上が高く、30代～40代、50代～60代のいわゆる就労層（ビジネスパーソン）は低くなっている。

「スポーツに気軽に参加し、継続できる仕組みづくり」が課題と考え、ビジネスパーソンを対象とし、気軽に参加・継続できる仕組みづくりを推進。

気軽にスポーツに 参加・継続できる 取組づくり

- ・チーム制によるウォーキングプログラム（3か月間、インターネットの専用サイト上で、バーチャルウォークを楽しむ「歩数競争イベント」）を実施。例えば、「東海道五十三次」を歩数によりどこまで歩いたかを閲覧しながらメンバーやチーム対抗で歩数を競うイベントなどがある。
- ・タニタヘルスリンク「からだカルテ」を活用した歩数・体組成管理を実施。
- ・参加者に活動量計（またはスマホアプリ）を配布し、市内公共施設やスギ薬局の店舗等に設置した端末を用いてデータをアップロードすることにより、歩数の管理やチームの順位の確認を容易にできるようにした。
- ・スギ薬局の管理栄養士による個々の身体活動量や健康度に応じた運動・食事等の健康相談を実施した。

ビジネスパーソン の参加促進

- ・企業の健康経営を推進するための制度と連携し、商工会議所等と協力しながら地域の中小企業に呼び掛け、ビジネスパーソンの参加を促した。
- ・グループでの参加とすることで関心層が無関心層を誘い、励ましあいながら継続できる仕組みとした。

取組効果（参加者の声）

- ・参加者は平成29年度259人、平成30年度400人、令和元年度829人と年々増加している。
- ・国が推奨する歩数が平均8,000歩・日である者を「運動充足層」と定義し、運動充足層の割合が、参加前で33.5%だったが、「歩数イベント」実施期間中に最大で44.8%まで増えた。

今後の展開、取組方針

- ・本事業を通じて、市民や市内企業の従業員の運動・スポーツ習慣化への取組を推進し、事業の効果等を分析したうえで、国からの補助がなくても財政的に持続可能な仕組みとして、他自治体にも横展開可能なモデルを構築する。